

平成21年度感染症報告事例のまとめ(前回報告分以降)について

- 1 平成21年11月26日報告分から22年2月15日までに報告(新規及び追加)があった感染症報告(疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。)は、輸血用血液製剤24件である。輸血用血液製剤の内訳は、
 (1) B型肝炎報告事例: 13
 (2) C型肝炎報告事例: 4
 (3) HIV感染報告事例: 0
 (4) その他の感染症報告事例: 7

- 2 B型肝炎報告事例
 (1) 輸血前後に感染症検査でHBs抗原(又はHBV-DNA)等が陽転した事例は12例(輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は0例)。
 (2) 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性の事例は3例。
 (3) 輸血後に死亡(原疾患又は他の原因による死亡を除く)したとの報告を受けた事例は1例(劇症化例を含む。)である。

- 3 C型肝炎報告事例
 (1) 輸血前後に抗体検査(又はHCV-RNA)等が陽転した事例は4例(うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は0例)。
 (2) 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
 (3) 輸血後に死亡(原疾患又は他の原因による死亡を除く)したとの報告を受けた事例は1例。

- 4 HIV報告事例
 (1) 輸血前後に抗体検査等が陽転した事例は0例。
 (2) 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
 (3) 輸血後に死亡(原疾患又は他の原因による死亡を除く)したとの報告を受けた事例は0例。

- 5 その他感染症報告事例
 (1) B型肝炎及びC型肝炎以外の肝障害報告事例は0件。
 (2) 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は0例。輸血後に死亡(原疾患又は他の原因による死亡を除く)したとの報告を受けた事例は0例。

31

国内輸血例

日赤番号	性別	年齢	FAX受付日	報告受付日	一般名	年齢性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与後検査年月	投与後検査年月	日赤投与前検査	日赤投与後検査	献血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転播	転播	献血者発症及の場合の献血者保管検体(抗原、抗体、NAT)	献血者発症及の場合の献血者の検査値		
輸血によるHBV感染報告事例(疑い例を含む。)																											
供血者陽性事例																											
3-0900050059	A-	2009	2009/8/1	2009/8/2	人赤血球濃厚液-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	血液腫瘍	B型肝炎	09/10 09/05 09/10 09/05 09/12 09/10 09/12 09/04	09/05 09/10 09/05 09/08	HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	保管検体48本(全部)HBV-DNA(-)	*献血者別は48本(個別保管検体の献血者は48名)スクリーニングNAT(HBV陽性)とされた献血者より採血についての保管検体(献血者発症等)の調査(献血者発症等)の結果、09/04にHBV陽性(HBV-DNA陽性)と判定された献血者(献血者発症)が献血者であった。また、09/08にHBV陽性(HBV-DNA陽性)と判定された献血者(献血者発症)が献血者であった。また、09/10にHBV陽性(HBV-DNA陽性)と判定された献血者(献血者発症)が献血者であった。また、09/12にHBV陽性(HBV-DNA陽性)と判定された献血者(献血者発症)が献血者であった。また、09/04にHBV陽性(HBV-DNA陽性)と判定された献血者(献血者発症)が献血者であった。	28單位 75單位 90單位 40單位 180單位	35/44(33人はHBV陽性検査陰性。1人はHBsAg抗体のみ陽性であり当該献血時に付いても同様であった。1人は次回献血でスクリーニングNAT(HBV)陽性であった)	44本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿-LRは19本確保済み。新鮮凍結血漿-LRは22本確保済み。	原料血漿は25本使用済み。新鮮凍結血漿-LRは2本確保済み。新鮮凍結血漿-LRは2本使用済み。		非重篤	疑状	献血者発症(劇症化例)と患者検体とHbS/AS領域を含む755領域の前半部の1550bpの塩基配列を比較したところ、2カ所に於いて相違が認められたが、それ以外の塩基配列は一致した。献血者と患者のHBVウイルスはGenotype中で塩基配列からSubtypeはadrと推定した。
3-1000005014	A-	2010	2010/1/2	2010/2/2	新鮮凍結人血漿 人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	血液腫瘍	B型肝炎	09/05 09/08 09/10 09/05 09/10 09/08 09/10	09/05 09/08 09/10 09/05 09/10 09/08 09/10	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	保管検体37本についてHBV-DNA(-)、1本HBV-DNA(+)	HBV-DNA陽性輸血用血液(献血者)についての調査 ①同一献血者番号 ②同一献血者番号 ③同一献血者番号 ④同一献血者番号 ⑤同一献血者番号 ⑥同一献血者番号 ⑦同一献血者番号 ⑧同一献血者番号 ⑨同一献血者番号 ⑩同一献血者番号 ⑪同一献血者番号 ⑫同一献血者番号 ⑬同一献血者番号 ⑭同一献血者番号 ⑮同一献血者番号 ⑯同一献血者番号 ⑰同一献血者番号 ⑱同一献血者番号 ⑲同一献血者番号 ⑳同一献血者番号 ㉑同一献血者番号 ㉒同一献血者番号 ㉓同一献血者番号 ㉔同一献血者番号 ㉕同一献血者番号 ㉖同一献血者番号 ㉗同一献血者番号 ㉘同一献血者番号 ㉙同一献血者番号 ㉚同一献血者番号 ㉛同一献血者番号 ㉜同一献血者番号 ㉝同一献血者番号 ㉞同一献血者番号 ㉟同一献血者番号 ㊱同一献血者番号 ㊲同一献血者番号 ㊳同一献血者番号 ㊴同一献血者番号 ㊵同一献血者番号 ㊶同一献血者番号 ㊷同一献血者番号 ㊸同一献血者番号 ㊹同一献血者番号 ㊺同一献血者番号 ㊻同一献血者番号 ㊼同一献血者番号 ㊽同一献血者番号 ㊾同一献血者番号 ㊿同一献血者番号	55單位 170單位 8單位 12單位	24/38(20人はHBV陽性検査陰性。4人はHBsAg抗体のみ陽性であり当該献血時に付いても同様であった。)	25本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿-LRは23本確保済み。新鮮凍結血漿-LRは2本確保済み。	原料血漿は22本使用済み。		非重篤	未回復	患者と献血者(HBV陽性保管検体)とのHBV-NAT実施予定塩基配列の相関性について調査予定。
3-1000008	A-	2010	2010/1/2	2010/2/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	血液腫瘍	B型肝炎	09/08 09/12	09/08 09/12	HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	保管検体5本HBV-DNA(-)、1本HBV-DNA(+)	HBV-DNA陽性輸血用血液(献血者)についての調査 ①同一献血者番号 ②同一献血者番号 ③同一献血者番号 ④同一献血者番号 ⑤同一献血者番号 ⑥同一献血者番号 ⑦同一献血者番号 ⑧同一献血者番号 ⑨同一献血者番号 ⑩同一献血者番号 ⑪同一献血者番号 ⑫同一献血者番号 ⑬同一献血者番号 ⑭同一献血者番号 ⑮同一献血者番号 ⑯同一献血者番号 ⑰同一献血者番号 ⑱同一献血者番号 ⑲同一献血者番号 ⑳同一献血者番号 ㉑同一献血者番号 ㉒同一献血者番号 ㉓同一献血者番号 ㉔同一献血者番号 ㉕同一献血者番号 ㉖同一献血者番号 ㉗同一献血者番号 ㉘同一献血者番号 ㉙同一献血者番号 ㉚同一献血者番号 ㉛同一献血者番号 ㉜同一献血者番号 ㉝同一献血者番号 ㉞同一献血者番号 ㉟同一献血者番号 ㊱同一献血者番号 ㊲同一献血者番号 ㊳同一献血者番号 ㊴同一献血者番号 ㊵同一献血者番号 ㊶同一献血者番号 ㊷同一献血者番号 ㊸同一献血者番号 ㊹同一献血者番号 ㊺同一献血者番号 ㊻同一献血者番号 ㊼同一献血者番号 ㊽同一献血者番号 ㊾同一献血者番号 ㊿同一献血者番号	12單位	0/8	5本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿-LRは23本確保済み。			重篤	未回復	患者検体と献血者(HBV陽性保管検体)とのHBV-NAT実施予定塩基配列の相関性について調査予定。

32

日赤番号	種別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	献血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転播	転播	献血者発症及の 場合の献血者 保腎抗体(抗原、 抗体、NAT)	献血者発症及の 場合の献血者の 検査値
3-1000009		2010/2/1		人赤血球濃厚液-LR	男	消化器腫瘍	B型肝炎	08/02 09/05	HBsAb(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(+) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(+) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(+) HBsAg(+)	陰性(輸血後)	陰性(輸血後)	保腎抗体3本 HBV-DNA(-) 1本 HBV-DNA(+)	HBV-DNA陽性輸血用血液(献血者)について ①再検査番号無し ②1本の新鮮凍結血漿-LRを製造し、新鮮凍結血漿-LRを供給し、新鮮凍結血漿-LRを供給する。 ③献血者の原疾患(消化器腫瘍)はHBV関連疾患ではない。 ④保腎薬について(保腎薬についてHBV-DNA陽性判定)1本の新鮮凍結血漿-LRを製造し、新鮮凍結血漿-LRを供給する。 ⑤HBV-DNA陽性判定は、新鮮凍結血漿-LRを供給する。	18単位	6/9	6本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は5本確保済み。	原料血漿は1本使用済み。新鮮凍結血漿-LRは全て使用済み。供給済み。	重篤	軽快		患者抗体と献血者の場合の献血者保腎抗体(抗原、抗体、NAT)	患者抗体と献血者の場合の献血者の検査値
輸血事例																								
3-0900092	A-0900092	2009/11/20	2009/12/12	新鮮凍結血漿(放射線照射)-LR	男	骨髄腫	B型肝炎	07/01 08/02 09/02 09/02	HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	陰性(輸血後)	陰性(輸血後)	保腎抗体45本 全部 HBV-DNA(-)	調査結果を受けて、担当医より「副作用・感染症・輸血由来のHBV感染は低い」とのコメントが得られた。	38単位 50単位 13単位 28単位	41/42(1)人の献血者には献血者検査依頼(予)あり。39人はHBV関連検査陰性。2人はHBs抗体のみ陽性であり、その当該献血時について1人はHBs抗体およびHBc抗体陽性であった。	9本の原料血漿を製造。原料血漿は2本確保済み。	原料血漿は18本使用済み。新鮮凍結血漿-LRは全て使用済み。新鮮凍結血漿-LRは全て使用済み。新鮮凍結血漿-LRは全て使用済み。新鮮凍結血漿-LRは全て使用済み。	重篤	死亡(死亡と本例との関連性不明(担当医の見解))		患者のHBVウイルスはQuonopexOで塩基配列からSubtype1.2と推定した。QuonopexO Mutant Type Coon promoter部位にも変異があった。	
3-0900094	A-0900094	2009/11/27	2009/12/9	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	血液腫瘍	B型肝炎	06/11 07/01 06/12 07/01	HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	陰性(輸血後)	陰性(輸血後)	保腎抗体9本 全部 HBV-DNA(-)		50単位 8単位	3/30 HBV関連検査陰性)	9本の原料血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。	重篤	不明			
3-0900098	A-0900098	2009/12/2	2009/12/15	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	血液腫瘍	B型肝炎	08/03 09/03 09/03 09/06	HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	陰性(輸血後)	陰性(輸血後)	保腎抗体11本 全部 HBV-DNA(-)		10単位 60単位	8/11 HBV関連検査陰性)	10本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は、9本確保済み。	原料血漿は、1本使用済み。新鮮凍結血漿-LRは医療機関へ供給済み。	重篤	未回復			

33

日赤番号	種別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	献血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転播	転播	献血者発症及の 場合の献血者 保腎抗体(抗原、 抗体、NAT)	献血者発症及の 場合の献血者の 検査値
3-0900097	A-0900097	2009/12/22	2009/12/25	新鮮凍結血漿	女	その他の疾患	B型肝炎	08/10 08/12 09/05 09/06	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	陰性(輸血後)	陰性(輸血後)	保腎抗体24本 全部 HBV-DNA(-)	確認票12本で第1報を手入れ、未完了報告を行ったが、その後医療機関からの申し出により確認票12本が追加された(未完了報告へは記載済み)	120単位	23/24(HBV関連検査陰性)			重篤	未回復			
3-0900099	A-0900099	2010/1/25	2010/1/27	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	血液腫瘍	B型肝炎	99/06 99/08 99/07 99/08 99/07 99/06 99/07	HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+)	陰性(輸血後)	陰性(輸血後)	保腎抗体20本 全部 HBV-DNA(-)		46単位 250単位 20単位 32単位	55/70(54)人はHBV関連検査陰性。1人はHBs抗体およびHBc抗体陽性で、当該献血時においても陽性であった。	70本の原料血漿、17本の新鮮凍結血漿、15本の赤血球MAP、1本の洗浄赤血球を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿、赤血球MAP、洗浄赤血球は全て医療機関へ供給済み。	重篤	未回復			
3-1000010	A-0900010	2010/2/2	2010/2/3	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	血液腫瘍	B型肝炎	09/03 08/06 09/03 09/06	HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+) HBcAb(-)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(+) HBcAb(-) HBsAg(+) HBcAb(-)	陰性(輸血後)	陰性(輸血後)	保腎抗体26本 全部 HBV-DNA(-)		165単位 20単位	18/28(15)人はHBV関連検査陰性。1人はHBs抗体のみ陽性であり、当該献血時においても陽性であった。	21本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は8本確保済み。	原料血漿は13本使用済み。新鮮凍結血漿-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	未回復			
3-1000011	A-0900011	2010/2/1	2010/2/5	新鮮凍結血漿-LR	男	骨髄腫	B型肝炎	09/07 09/08 09/07	HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBsAg(+) HBcAb(+) IgM-HBsAb(+) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(+)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(+)	陰性(輸血後)	陰性(輸血後)	保腎抗体26本 全部 HBV-DNA(-)	人血清アブミン	48単位	10/28(18)人はHBV関連検査陰性。1人はHBs抗体およびHBc抗体陽性であり、当該献血時においても陽性であった。	2本の新鮮凍結血漿-LR、24本の赤血球濃厚液-LRを製造。新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。	赤血球濃厚液-LRは2本医療機関へ供給済み。	重篤	未回復			
3-1000010		2010/2/1		人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	呼吸器疾患	B型肝炎	07/06 08/04 09/04	HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HBcAg(-)	陰性(輸血後)	陰性(輸血後)	保腎抗体41本 全部 HBV-DNA(-)		64単位 30単位 30単位	32/41	31本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿-LRを製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	未回復			
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陰性																								
(該当例なし)																								
輸血未確認事例																								

34

日付番号	報告日	FAX 受付日	報告 受領日	一般名	患者 性別	年齢	原疾患	感染 症名	投与 年月	投与前検査 (年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前 検査	日赤投与後 検査	受血者 別 NAT	献血 者別 NAT	併用 血液製 剤等	備考	使用 単位数	供血者再献血 ※	同一供血者製剤 確保※	同一供血者 製剤使用※	感染 症等 転帰	転帰	供血者 発症及 の場合 の供血 者抗体 (抗原、 抗体、 NAT)	供血者発症及 の場合の 供血者の 検査		
3-1001002		2010/2/10		人血小坂濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	女	10	肝臓病	B型肝炎	04/08 08/08	HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAg(-) HBeAb(-) HBcAb(-) IgM-HBeAb(-) HBsAg(-) HBeAb(-) HBsAb(-) HBsAg(-) (08/07) (09/12)			調査中	HCV抗体検査 実施予定	保管抗体71本についてHCV-NAT実施予定		210単位 2単位 2単位 20単位	調査中	調査中	調査中		重篤	未回復				
輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)																											
供血者陽性事例 (該当例なし)																											
隣転事例																											
3-0900000	A-0900009	2009/11/18	2009/12/2	人血小坂濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	5	血液腫瘍	C型肝炎	08/02 09/07	HCV-Ab(-) (08/12) HCVコアAg(-) (09/03)	HCV-RNA(-) (09/03)	HCV-RNA(+)	HCV-Ab(-) (09/11)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管抗体22本(全部)についてHCV-RNA(-)		120単位 20単位	12/22(HCV抗体検査陰性)	20本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は、10本確保済み。新鮮凍結血漿-LRはすべて確保済み。	原料血漿は、9本使用済みで、1本凍結済み。		重篤	未回復				
3-0900001	A-0900001	2009/11/20	2009/12/3	新鮮凍結人血漿-LR 人血小坂濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液-LR	男	6	血液腫瘍	C型肝炎	09/04	HCV-Ab(-) (09/02)	HCVコアAg(+) genotype1b (09/10)	HCV-RNA(-) (09/04)	HCV-RNA(+)	HCV-Ab(-) (09/11)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管抗体17本(全部)についてHCV-RNA(-)		10単位 20単位 16単位	9/17(HCV抗体検査陰性)	9本の原料血漿、8本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿は、すべて確保済み。	赤血球濃厚液-LRは全て医療機関へ供給済み。		重篤	未回復			
3-1000002	A-0900001	2010/1/12	2010/1/21	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	17	消化器腫瘍	C型肝炎	07/10	HCV-Ab(-) (07/10)	HCV-Ab(+)	HCV-RNA(+)	HCV-Ab(+)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管抗体1本についてHCV-RNA(-)		2単位	0/1	1本の原料血漿を製造。	原料血漿は使用済み。		重篤	未回復				
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																											
隣転未確認事例 (該当例なし)																											
輸血によるHIV感染報告例(疑い例を含む。)																											
輸血による細菌や感染症報告例(疑い例を含む。)																											

3-0900007	A-0900007	2009/10/16	2009/10/20	人血小坂濃厚液(放射線照射)	男	7	血液腫瘍	細菌感染	09/10		輸血的80分後に悪寒・戦慄、嘔吐、末梢冷感あり。SpO2 60~70%台、BP70台 投与中止。約2時間後 38.2℃~38.7℃ 院内にて実施の患者血液培養より Streptococcus agalactiaeを抽出。院内にて実施の当該製剤血液培養より Streptococcus agalactiaeを抽出。	投与中止の当該製剤1本で細菌培養試験を実施。Streptococcus agalactiae(β溶血性球菌)検出。同一患者番号の血液(1本)で細菌培養試験を実施。保管抗体(1本)で細菌培養試験を実施。Streptococcus agalactiaeを抽出。						10単位		1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。			重篤	未回復		細菌培養(陽性)試験結果(Streptococcus agalactiae)あり。同一患者番号の当該製剤による菌子検出(クローン)
3-0900009	A-0900009	2009/11/17	2009/12/2	人血小坂濃厚液	男	4	血液腫瘍	細菌感染	09/11	38.2℃ 脈78/min	輸血後1hr目にシバリングT↑、HR>150、SpO2 70%台。その後38.5℃ 院内にて実施の患者血液培養よりプロト菌糸菌群グラム陽性菌及びグラム陽性桿菌を抽出。	投与中止の当該製剤1本で細菌培養試験を実施。非溶血性副作用関連検査実施。抗血液タンパク質抗体検査：陽性 血液タンパク質抗体検査：陰性						10単位		1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。			非重篤	回復		
3-0900003	A-0900003	2009/11/24	2009/12/3	人血小坂濃厚液	男	2	血液腫瘍	細菌感染	09/11	BP110/60 B739.3℃ SpO2 100%	開始後十秒後に突然胸不快感(痛み助言下方打込)を訴え胸不快感、シビリングとともに40℃の発熱 BP110/60 B739.3℃ SpO2 100% 院内にて実施の患者血液培養、陰性。	投与中止の当該製剤1本で細菌培養試験を実施。陰性。非溶血性副作用関連検査実施。抗血液タンパク質抗体検査：陰性						10単位		1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。			非重篤	回復		
3-0900008	A-0900008	2009/12/25	2010/1/7	新鮮凍結人血漿-LR	男	7	消化器腫瘍	細菌感染	08/12		輸血20分後 B737.9℃~39.7℃ BP120/60~190/90mmHg HbS183g/L 院内にて患者血液および当該輸血用血漿について血液培養実施中	投与中止の当該製剤1本で細菌培養試験を実施。陰性。非溶血性副作用関連検査実施。抗血液タンパク質抗体検査：陰性						2単位		1本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿は確保済み。	赤血球濃厚液-LRは医療機関へ供給済み。		非重篤	回復		
3-1000003	A-0900003	2010/1/13	2010/1/21	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	6	消化器腫瘍	細菌感染	10/1		輸血翌日 39.2℃ 患者血液培養より肺炎球菌レンサ球菌を抽出	同一患者番号の血液(2本)で細菌培養試験を実施。陰性。						4単位		2本の新鮮凍結血漿-LRを製造。すべて確保済み。			非重篤	回復		

日赤番号	製剤番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	献血者発症及の 場合の献血者の 検査値	献血者発症及の 場合の献血者の 検査値
3-100000004	A-09000103	2010/1/18	2010/1/29	人赤血球濃厚液-LR 新鮮凍結人血漿-LR	男	脳神経疾患 先天性疾患	サイトメガロウイルス感染	09/11	IgM-CMV-Ab(-) IgG-CMV-Ab(+) IgM-CMV-Ab(-) IgG-CMV-Ab(-) (09/11)	IgM-CMV-Ab(+) IgG-CMV-Ab(+) (09/12) IgM-CMV-Ab(+) IgG-CMV-Ab(+) (10/01)				保管検体2本について IgM-CMV-Ab(-) IgG-CMV-Ab(-) 保管検体1本について IgM-CMV-Ab(-) IgG-CMV-Ab(-)		3単位 2単位		2本の原料血漿、1本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿は、すべて確保済み。	赤血球濃厚液-LRは製造開始へ供給済み。	重篤	軽快			
3-1000011		2010/2/3		人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	外傷・整形外科的疾患	細菌感染	10/1	BT35.8℃ BP113/78 P110	輸血翌日 37℃ BP164/90 P128 輸血翌々日、ショック発現。 院内にて実施の患者血液培養は陰性。	同一献血番号の血液(未)で菌陽試験を実施予定。 発症性副作用関連検査実施予定				細菌培養、経血11日目の照射赤血球濃厚液-LR		2単位	1本原料血漿を製造。調査中	調査中	重篤	軽快			

国内血漿分画製剤例

製剤番号	FAX受付日	報告受付日	販売名(一般名)	患者性別	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	患者検体確保状況	受血者個別NAT	原料血漿・製品NAT検査(再検査・製造時検査の別)	併用血液製剤等	備考	使用単位数	ロット番号	同一製剤ロット使用状況	感染症等転帰	転帰	
血漿分画製剤による感染報告例(疑い例を含む。)																				
A-09000001	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	男	循環器疾患	C型肝炎	1986/9					1990/1、慢性C型肝炎の診断。 1990/9 HCV-Ab(+), 1992/6 肝硬変の診断 1999/2肝癌の診断 2000/12死亡 1988/12急性肝炎の診断。 1990/3、慢性C型肝炎の診断。 1990/4 HCV-Ab(+), 1990/11 HCV-RNA 定量 1.1MEQ/ml 2008/11~2008/1慢性肝炎の診断								原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱のフィブリノゲンミドリ。
A-09000002	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	血液疾患	C型肝炎	1988/10					1990/11 HCV-RNA 定量 1.1MEQ/ml 2008/11~2008/1慢性肝炎の診断								原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より60℃90時間乾燥加熱処理のみのフィブリノゲン製剤。
A-09000003	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	外傷・整形外科的疾患	C型肝炎	1988/10					不明日、急性肝炎発症 2004/11 健康診断でHCV感染が判明。 現在、慢性肝炎。								原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱のフィブリノゲンミドリと考えられる。
A-09000004	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	男	循環器疾患?	C型肝炎	1986/9					1988/10橋本肝炎と診断 1995/7 C型肝炎と診断 1996/1 HCV-Ab(+) 1996/2 脳動脈瘤破裂で死亡								原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱のフィブリノゲンミドリと考えられる。
A-09000005	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	産科(出血)	C型肝炎	1988/8					1999 C型肝炎ウイルスキャリアと診断 2002/4 IFN治療によりHCV検出限界以下								原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱のフィブリノゲン製剤と考えられる。
A-09000006	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	外傷・整形外科的疾患	C型肝炎	1988/7					1990/9 C型肝炎と診断 2003/2 HCV-RNA 検出								原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より60℃90時間乾燥加熱処理のみのフィブリノゲンHTミドリと考えられる。
A-09000007	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	循環器疾患	C型肝炎	1977					不明日、C型肝炎発症 HCV-Ab(+) 現在、ウイルス検出限界以下		乾燥人血液凝固第9因子製剤						原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱のフィブリノゲンミドリと考えられる。
A-09000008	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	男	外傷・整形外科的疾患	C型肝炎	1988					不明日、C型肝炎発症 HCV-RNA(+) 現在、肝硬変								原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より60℃90時間乾燥加熱処理のみのフィブリノゲンHTミドリと考えられる。

識別番号	FAX 受付日	報告 受領日	販売名(一般 名)	患者 性別	原疾患 (病名)	感染 症名	投与 年月	投与前検査 (年月)	投与後検査(年月)	患者検体確保状 況	受血者個別 NAT	原料血漿・製品 NAT検査(再検 査・製造時検査 の別)	併用血 液製剤 等	備考	使用単位 数	ロット番号	同一製剤ロット 使用状況	感染 症転 帰	転帰
A-0900009	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	産科(出血)	C型肝炎	1989		不明日、C型肝炎発現 HCV-RNA(+) 現在、C型慢性肝炎					原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱または60℃96時間乾燥加熱処理のみのフィブリノゲン製剤と考えられる。					
A-0900010	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	産科(出血)	C型肝炎	1988		不明日、C型肝炎発現 HCV-Ab(+) 現在、ウイルス検出限界以下					原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱または60℃96時間乾燥加熱処理のみのフィブリノゲン製剤と考えられる。					
A-0900011	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	産科(出血)?	C型肝炎	1987		不明日、C型肝炎発現 HCV-RNA(+) 現在、非産後性キャリア					原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱または60℃96時間乾燥加熱処理のみのフィブリノゲン製剤と考えられる。					
A-0900012	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	産科(出血)	C型肝炎	1987		不明日、C型肝炎発現 HCV-RNA(+) 現在、ウイルス検出限界以下					原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱または60℃96時間乾燥加熱処理のみのフィブリノゲン製剤と考えられる。					
A-0900013	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	血液疾患?	C型肝炎	1988		不明日、C型肝炎発現 HCV-RNA(+) 現在、C型慢性肝炎					原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱のフィブリノゲンミドリと考えられる。					
A-0900014	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	循環器疾患	C型肝炎	1984		不明日、C型肝炎発現 HCV-RNA(+) 現在、C型慢性肝炎					原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱のフィブリノゲンミドリと考えられる。					

識別番号	FAX 受付日	報告 受領日	販売名(一般 名)	患者 性別	原疾患 (病名)	感染 症名	投与 年月	投与前検査 (年月)	投与後検査(年月)	患者検体確保状 況	受血者個別 NAT	原料血漿・製品 NAT検査(再検 査・製造時検査 の別)	併用血 液製剤 等	備考	使用単位 数	ロット番号	同一製剤ロット 使用状況	感染 症転 帰	転帰
A-0900015	2009/4/3	2009/4/6	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)	女	産科(出血)	C型肝炎	1985/1		1984/12 慢性肝炎と診断 2000/6 HCVゲノタイプ1b 2008/4 HCV-RNA陽性 現在、C型慢性肝炎					原告代理人からの新状に記載された情報。投与時期より非加熱のフィブリノゲンミドリと考えられる。					
A-0900058	2009/8/1	2009/8/20	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	男	バルボウイルスB19感染 その他の疾患	B型肝炎表面抗原陰性	2009/7		2009/8全身発疹、バルボ感染疑いが発現					医師・企業ともに因果関係を否定し報告対象外。製造工程中で60℃10時間の凍結加熱、19nmのナノフィルトレーションによりモデルウイルスで14.9ngのリククシオンファクターが検られ、さらに最終製剤B19NAT陰性、他に当該ロットで報告なし					
A-0900078	2009/10/27	2009/11/2	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	女	その他の疾患	B型肝炎表面抗原陰性	2009/5	HBsAg(-) (09/03)	HBsAg(+) (09/10)				赤血球濃厚液-LR	原料血漿についてNATにてHBV-DNA陰性を確認。製造工程中のHBVウイルスクリアランス指数は≥20.4保管後のNAT再試験を実施中。出荷ロット25350本で在庫なし。有効期限は2010年9月11日。当該ロットにおいて他にHBV感染が疑われる症例は報告されていない。医師・企業ともに因果関係を否定し報告対象外	5g		不明		

試行的 HEV20 プール NAT 実施状況について
 (輸血後 HEV 感染の予防対策)

1. 試行的 HEV20 プール NAT 実施状況

北海道赤十字血液センター管内
 調査期間:平成 17 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日

	献血者数	HEV-RNA 陽性	陽性率
H17. 1～H18. 2*1	341, 174	45	1/7, 582
H18. 3～H21. 12*2	1, 034, 015	123	1/8, 407
合計	1, 375, 189	168	1/8, 186

*1 北海道センターにて NAT 実施(ALT 高値、検査不合格検体も含む)
 *2 血漿分画センターにて NAT 実施(ALT 高値、検査不合格検体は除く)

2. HEV-RNA 陽性献血者の内訳
 別添

2. HEV-RNA陽性者の内訳

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	陽性率 ※1	病の種類	喫食歴調査		献血者情報
					IgM	IgG				献方	提供原料	
1	2005/01/04	32	M	57	-	-	+	無	不明レバー	生	無	無
2	2005/02/07	38	F	11	-	-	+	無	ブタレバー	生	無	無
3	2005/02/13	41	M	103	-	-	+	無	回答なし		無	無
4	2005/03/25	65	F	17	-	-	+	有	回答なし		有	赤血球製剤凍結のため院内廃棄
5	2005/03/27	26	M	38	-	-	+	無	不明レバー(問診済)	生	無	無
6	2005/04/10	54	F	20	-	-	+	無	ウシ精肉	半生	無	無
7	2005/04/15	59	F	16	-	-	+	無	ブタホルモン、シカ精肉	十分加熱	無	無
8	2005/04/15	35	F	16	-	-	+	無	シカ精肉、ウシ精肉	半生	無	無
9	2005/04/20	25	M	24	+	+	+	無	ウシレバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	感染なし
10	2005/04/28	22	M	44	-	-	+	無	ウシレバー、ウシ精肉	半生	無	無
11	2005/06/07	42	M	24	+	+	+	無	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	有	原疾患により死亡
12	2005/06/22	51	M	52	-	-	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	無
13	2005/07/03	58	M	219	+	+	+	無	不明レバー、ブタ精肉	十分加熱	無	無
14	2005/07/05	22	M	23	+	-	+	無	回答なし		無	無
15	2005/07/05	38	M	15	-	-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	半生	無	無
16	2005/07/13	24	M	19	-	-	+	無	ウシレバー	生	有	原疾患により死亡
17	2005/09/02	33	M	49	-	-	+	無	ウシ精肉	半生	無	無
18	2005/09/01	29	F	100	+	+	+	無	ブタホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	無
19	2005/09/20	42	M	31	-	-	+	無	ウシホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	無
20	2005/09/27	20	F	10	-	-	+	無	ウシホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	有	HEV感染(H17.11)運営委員会報告済み
21	2005/10/21	41	M	12	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタホルモン、ヒツジ精肉	十分加熱	無	無
22	2005/10/25	44	F	38	+	+	+	無	回答なし		無	無
23	2005/11/07	30	F	21	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	無
24	2005/11/07	31	F	12	+	+	+	有	ブタホルモン、ウシ精肉、ヒツジ精肉	半生	無	無
25	2005/11/20	28	M	47	+	+	+	有	ブタホルモン、ウシ精肉	十分加熱	無	無
26	2005/11/29	35	F	333	+	+	+	有	ウシレバー、ブタホルモン、ウシ精肉	生	無	無
27	2005/12/13	42	M	30	-	-	+	有	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	有	原疾患により死亡
28	2005/12/13	30	M	11	-	-	+	有	不明レバー	半生	有	HEV感染(H18.01.28)運営委員会報告済み
29	2005/12/22	62	F	14	-	-	+	無	回答なし	十分加熱	無	無
30	2005/12/27	42	F	14	-	-	+	無	回答なし	十分加熱	無	無

調査期間:2005年1月1日～2009年12月31日
 別添

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		適及対象 供給薬剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
31	2006/01/02	22	F	12	-	-	+	有	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
32	2006/01/06	68	M	23	-	-	+	無	ウシレバー、ブタホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	
33	2006/01/13	36	M	42	-	-	+	無	ウマ精肉、不明レバー ウシ精肉、ヒツジ精肉 ウシレバー、ブタ精肉、ブタホルモン	生 半生 十分加熱	無	
34	2006/01/18	53	M	238	+	+	+	有	ウシレバー、ウシホルモン	十分加熱	無	
35	2006/01/13	31	M	43	-	-	+	有	不明レバー ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
36	2006/01/17	48	M	25	-	-	+	無	回答なし		無	
37	2006/01/25	52	M	25	-	-	+	無	不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	輸血後89日現在、HEVマーカーの陽転は見られず追跡調査終了
38	2006/01/30	39	F	22	-	-	+	無	回答なし		無	
39	2006/01/30	25	M	32	-	-	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	
40	2006/02/02	39	F	35	-	+	+	有	ウシレバー ウシレバー ヒツジ精肉	生 半生 十分加熱	無	
41	2006/02/07	57	M	13	-	-	+	無	不明	不明	無	
42	2006/02/07	40	F	172	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
43	2006/02/17	39	M	28	-	-	+	無	ブタホルモン、ブタレバー、ブタガツ、ヒツジ精肉 イノシシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
44	2006/02/20	58	M	22	-	-	+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
45	2006/02/21	45	M	30	-	-	+	無	ウシ精肉 ブタ精肉、ブタレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
46	2006/03/01	46	F	15	-	-	+	無	回答なし		無	
47	2006/03/01	50	F	29	-	-	+	無	回答なし		無	
48	2006/03/02	54	M	47	+	+	+	無	ウシ、ブタ(精肉、レバー、ホルモン)、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
49	2006/03/27	40	F	12	-	-	+	無	回答なし		無	
50	2006/04/01	31	F	16	-	-	+	無	ヒツジ精肉	半生	無	
51	2006/04/04	30	F	14	-	-	+	無	ブタ精肉、不明レバー	十分加熱	無	
52	2006/04/12	38	M	45	+	+	+	無	ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
53	2006/04/18	21	M	26	-	-	+	無	ウシ精肉、ウシホルモン ウシ精肉、ウシホルモン	半生 十分加熱	無	
54	2006/04/22	28	M	14	+	+	+	無	回答なし		無	
55	2006/04/26	46	M	19	-	-	+	無	ブタレバー	半生	無	
56	2006/05/18	62	M	27	-	-	+	無	ヒツジレバー	十分加熱	無	
57	2006/07/07	17	M	33	-	-	+	無	回答なし		無	
58	2006/07/11	34	F	10	-	-	+	無	回答なし		無	
59	2006/07/12	21	F	27	-	-	+	無	回答なし		無	
60	2006/07/22	49	M	46	+	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		適及対象 供給薬剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
61	2006/08/01	62	M	18	-	-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
62	2006/09/06	44	F	14	-	-	+	無	喫食歴なし		無	
63	2006/09/29	68	M	15	-	-	+	無	ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
64	2006/10/21	29	M	22	-	-	+	無	不明		無	
65	2006/11/19	48	M	58	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
66	2006/11/23	54	M	18	-	-	+	無	回答なし		無	
67	2006/12/01	43	M	55	-	+	+	無	ブタ精肉	十分加熱	無	
68	2006/12/04	60	M	46	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
69	2006/12/04	47	M	40	+	+	+	無	ウシ精肉、ウシホルモン	十分加熱	無	
70	2007/03/01	33	M	41	-	-	+	無	ウシレバー	生	無	
71	2007/03/15	42	M	32	-	+	+	無	ブタレバー、ブタホルモン	半生	無	
72	2007/03/27	55	M	30	-	-	+	無	不明レバー	十分加熱	無	
73	2007/04/07	22	F	9	-	-	+	無	ユッケ ウシホルモン、ヒツジホルモン	生 十分加熱	無	
74	2007/05/16	47	F	15	-	-	+	無	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
75	2007/05/18	40	F	27	+	+	+	無	ブタ生ハム(自家製)	半生	無	
76	2007/05/30	33	M	26	-	+	+	無	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
77	2007/06/22	38	M	20	-	-	+	無	ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
78	2007/06/25	45	M	37	+	+	+	無	ブタ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
79	2007/06/27	37	M	18	-	-	+	無	ブタ精肉	十分加熱	無	
80	2007/07/24	57	M	24	-	-	+	無	喫食歴なし		無	
81	2007/07/29	37	M	48	-	-	+	無	不明レバー、ブタホルモン 不明レバー、ブタホルモン	十分加熱 半生	無	
82	2007/07/31	48	M	30	-	-	+	無	ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
83	2007/08/01	48	M	33	-	-	+	無	ブタ精肉 ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
84	2007/08/04	53	M	28	-	-	+	無	ヒツジ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
85	2007/08/28	50	M	60	-	-	+	無	ヒツジ精肉 ウシ精肉	十分加熱 生	無	
86	2007/09/05	41	M	29	-	-	+	無	喫食歴なし		無	
87	2007/09/18	41	M	23	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉、ウシホルモン、ブタホルモン	半生	無	
88	2007/09/21	57	M	19	-	-	+	無	ブタホルモン	十分加熱	無	
89	2007/10/03	59	M	39	-	-	+	無	ブタレバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
90	2007/10/03	19	M	40	-	-	+	無	喫食歴なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		週及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
91	2007/10/09	35	M	19	-	-	+	/	ブタ精肉	十分加熱	無	
92	2007/10/18	30	M	31	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
93	2007/11/16	24	M	5	-	-	+	/	不明		無	
94	2007/11/16	54	M	22	-	+	+	/	ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
95	2007/11/16	45	M	47	-	-	+	/	ブタ精肉 ブタレバー	十分加熱 半生	無	
96	2007/11/19	58	M	13	-	-	+	/	レバー、ホルモン	不明	無	
97	2007/11/19	24	M	46	-	-	+	/	不明		無	
98	2007/11/24	36	M	25	-	-	+	/	不明		無	
99	2007/11/29	42	M	21	-	+	+	/	不明		無	
100	2007/11/30	31	M	42	+	+	+	/	レバー	不明	無	
101	2008/01/08	35	M	38	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
102	2008/01/17	48	F	13	+	+	+	/	ブタホルモン、シカ精肉 ウシ精肉	十分加熱 半生	無	
103	2008/01/29	57	M	22	-	-	+	/	ブタレバー、ブタホルモン	十分加熱	無	
104	2008/02/04	31	M	47	+	+	+	/	不明		無	
105	2008/02/06	57	M	20	-	-	+	/	ブタホルモン	十分加熱	無	
106	2008/02/13	42	M	35	-	-	+	/	不明レバー	十分加熱	無	
107	2008/02/13	60	M	37	+	+	+	/	不明		無	
108	2008/03/11	30	M	21	-	-	+	/	不明		無	
109	2008/03/25	34	F	26	-	-	+	/	喫食歴なし		無	
110	2008/03/26	32	M	41	+	+	+	/	ブタ精肉、ウシ精肉	十分加熱	無	
111	2008/03/29	54	M	26	-	-	+	/	ブタ精肉	十分加熱	無	
112	2008/03/30	19	F	9	-	-	+	/	不明レバー	十分加熱	無	
113	2008/04/16	48	M	13	-	-	+	/	不明		無	
114	2008/05/12	33	M	12	-	-	+	/	ブタ精肉、ブタホルモン	半生	無	
115	2008/05/28	39	F	29	-	-	+	/	不明		無	
116	2008/05/28	47	M	46	-	-	+	/	ブタホルモン	十分加熱	無	
117	2008/06/04	43	M	38	+	+	+	/	ウシレバー ウシホルモン、ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	生 十分加熱	無	
118	2008/06/07	42	M	11	-	-	+	/	ウシレバー ブタ精肉	生 十分加熱	無	
119	2008/06/23	48	M	17	-	-	+	/	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生	無	
120	2008/07/10	39	M	32	-	-	+	/	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉 ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		週及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
121	2008/07/11	39	M	28	-	-	+	/	不明		無	
122	2008/07/26	34	M	35	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
123	2008/07/27	36	M	45	-	-	+	/	不明		無	
124	2008/07/30	24	M	10	-	-	+	/	不明		無	
125	2008/08/20	19	M	17	+	-	+	/	不明		無	
126	2008/09/03	30	M	28	-	-	+	/	不明		無	
127	2008/09/08	35	M	16	-	-	+	/	不明		無	
128	2008/09/09	23	F	24	-	-	+	/	ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
129	2008/09/16	33	F	18	+	+	+	/	不明		無	
130	2008/09/16	58	M	21	-	-	+	/	不明		無	
131	2008/09/17	62	M	37	-	-	+	/	ウシレバー、ブタレバー	十分加熱	無	
132	2008/09/23	42	M	36	-	-	+	/	ブタ精肉、ブタレバー	十分加熱	無	
133	2008/09/25	35	M	16	-	-	+	/	不明		無	
134	2008/09/27	30	M	22	-	-	+	/	不明		無	
135	2008/10/10	50	M	31	-	-	+	/	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	不明	無	
136	2008/10/11	39	F	15	-	-	+	/	ウマ精肉	生	無	
137	2008/10/14	56	M	13	-	-	+	/	不明レバー	生	無	
138	2008/10/18	38	F	23	-	-	+	/	不明		無	
139	2008/11/03	37	M	22	-	-	+	/	ウシホルモン、ブタ精肉	半生	無	
140	2008/11/11	41	F	11	-	-	+	/	不明		無	
141	2008/12/05	52	M	18	-	-	+	/	ブタレバー	十分加熱	無	
142	2008/12/20	47	M	22	-	-	+	/	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
143	2009/01/13	50	M	27	-	-	+	/	ウシ、ブタ(精肉、レバー、ホルモン)	十分加熱	無	
144	2009/01/27	55	M	17	-	-	+	/	不明		無	
145	2009/02/11	37	M	28	-	-	+	/	不明ホルモン	十分加熱	無	
146	2009/02/16	59	F	23	-	-	+	/	ブタレバー	不明	無	
147	2009/02/23	20	F	42	-	+	+	/	ウシ、ブタ精肉	半生	無	
148	2009/03/11	29	M	49	-	-	+	/	ブタレバー、ホルモン	十分加熱	無	
149	2009/04/16	35	F	29	-	-	+	/	ウシレバー ウシ、ブタホルモン	生 半生	無	
150	2009/04/24	36	F	42	-	-	+	/	不明ホルモン	不明	無	

日本赤十字社血液事業本部 御中

薬事・食品衛生審議会血液事業部会事務局
厚生労働省医薬食品局血液対策課

血液製剤に関する報告事項について

血液事業の推進に御努力いただき、厚く御礼申し上げます。
さて、標記につきましては、平成22年11月20日付け血安第452号にて貴社から報告を頂いたところですが、平成22年3月2日(火)に平成21年度第4回血液事業部会運営委員会が開催されますので、下記の事項について資料を作成いただき、平成22年2月12日(金)までに当事務局にて御提出いただきますようお願いいたします。記の11については、平成21年12月10日開催平成21年度第3回血液事業部会運営委員会提出資料を更新のうえ、再度御提出ください。

なお、資料の作成に当たっては、供血者、患者及び医療機関の名称並びにこれらの所在地又はこれらの事項が特定できる情報を記載しないよう、個人情報及び法人情報の保護に特段の御配慮をお願いします。

記

- 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 平成16年3月2日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る7人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

No.	採血日	年齢	性別	ALT (U/L)	HEV抗体		HEV RNA	同診 該当 ※1	病の 種類	検査項目		波及対象 採後要項	受血者情報
					IgM	IgG				検査方法	検査結果		
151	2009/04/27	45	M	50	-	-	+	/	不明		生		
152	2009/06/04	65	F	24	-	-	+	/	不明ホルモン		不明		
153	2009/06/09	63	M	26	-	-	+	/	プタ精肉 ウシ精肉		十分加熱 生		
154	2009/07/01	47	M	40	+	+	+	/	ウシ精肉、プタホルモン		十分加熱 生		
155	2009/07/23	28	F	11	-	-	+	/	プタホルモン ウシ精肉		十分加熱 生		
156	2009/06/01	40	M	26	-	-	+	/	ウシ精肉、プタホルモン		十分加熱		
157	2009/09/14	41	M	14	-	-	+	/	不明		生		
158	2009/09/04	43	M	45	-	-	+	/	ウシ精肉		生		
159	2009/09/09	54	F	14	-	-	+	/	ウシレバー		半生		
160	2009/09/09	51	M	19	-	-	+	/	プタ精肉		十分加熱		
161	2009/10/12	27	M	41	-	-	+	/	不明				
162	2009/10/27	52	M	29	-	-	+	/	プタ精肉、プタレバー		十分加熱		
163	2009/11/17	53	M	19	-	-	+	/	ウシ精肉、プタレバー		半生		
164	2009/11/28	28	M	29	-	-	+	/	不明				
165	2009/12/17	37	M	35	-	-	+	/	ウシレバー		生		
166	2009/12/13	37	M	15	-	-	+	/	ウシ精肉、プタレバー、ウシ、プタホルモン		十分加熱		
167	2009/12/24	64	M	40	-	-	+	/	ヒツジ精肉		不明		
168	2009/12/28	34	F	18	-	-	+	/	不明				

※1:同診検査結果内容
09年11月1日~09年10月31日:過去3ヶ月以内にプタ、ウシ、イシがあるいは時期不明の生肉、生レバーの検査歴
09年11月1日~09年10月31日:過去3ヶ月以内に生肉(半生も含む)、レバー、ホルモン(動物性)、凍干方を問わずプタの検査歴、なお本調査は08年03月31日をもって終了

査結果。来訪がなければ、その旨。

5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
10. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
11. 試行的HEV20プールNATについて、その後の調査実施状況。

血 安 第 5 2 号
平成22年2月12日

厚生労働省医薬食品局血液対策課長 様

日本赤十字社
血液事業本部長

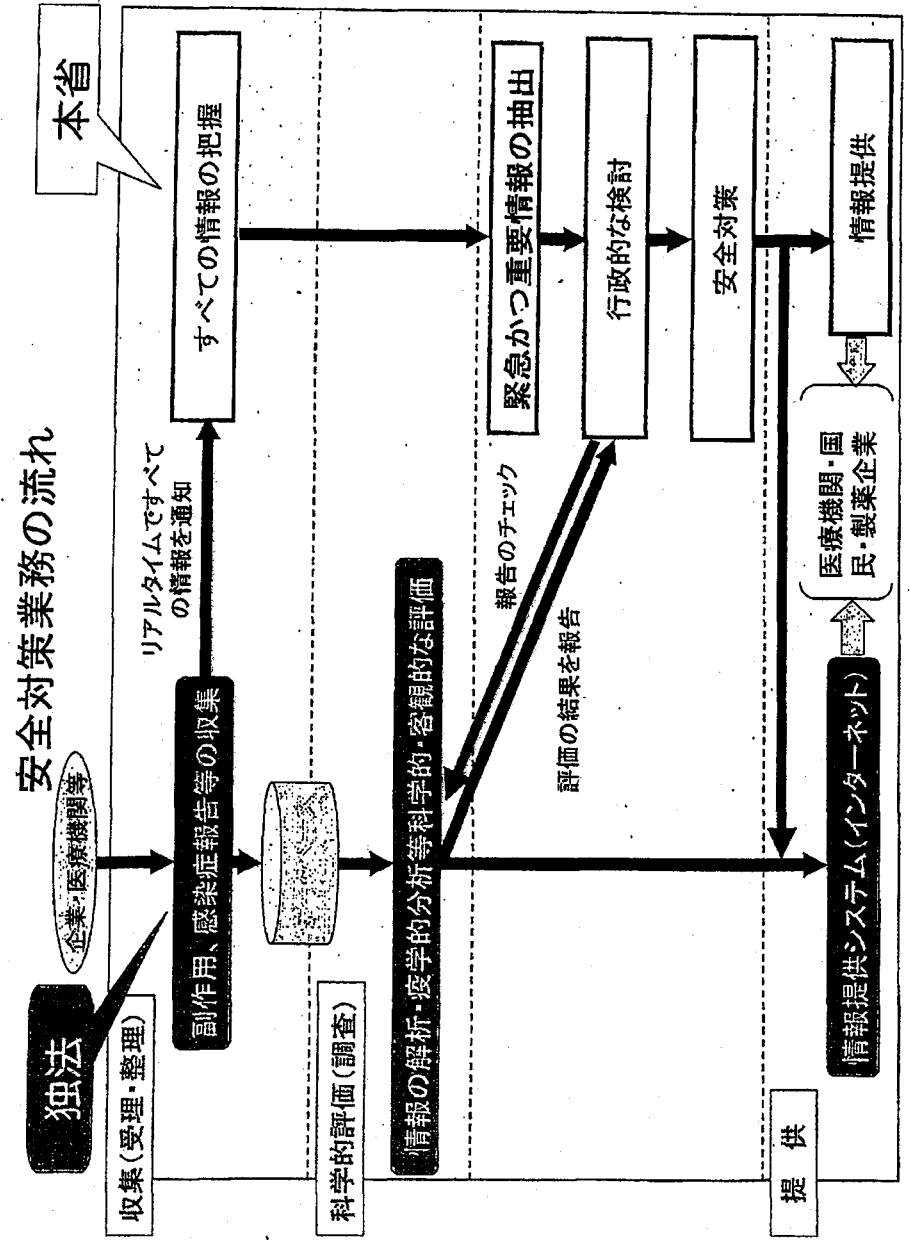
血液製剤に関する報告事項について（回答）

平成22年2月5日付事務連絡によりご依頼のありました標記の件については、下記のとおり資料を作成しましたので報告いたします。

記

1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人のその後の来訪なし。（8名中6名が来所、検査は全て陰性）
2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る5人のその後の来訪なし。（37名中32名が来所、検査は全て陰性）
3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る7人のその後の来訪なし。（48名中41名が来所、検査は全て陰性）
4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人のその後の来訪なし。（16名中12名が来所、検査は全て陰性）
5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。（追跡調査対象の4名中3名が来所、HBV-DNAは全て陰性。1名はHBc抗体がEIA法のみ陽性HI法陰性、その他の者は全て陰性）

6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人のその後の来訪なし。（20名中16名が来所、検査は全て陰性）
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る9人のその後の来訪なし。（53名中44名が来所、HBV-DNAは全て陰性。2名はHBc抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性）
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。（29名中28名が来所、HBV-DNAは全て陰性。2名はHBc抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性）
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人のその後の来訪なし。（3名中2名が来所、検査は全て陰性）
10. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人のその後の来訪なし。（81名中78名が来所、検査は全て陰性）
11. 試行的HEV20プールNATについて、その後の調査実施状況については別紙のとおり。



献血件数及びHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数

年	献 血 件 数 (検 査 実 施 数)	陽性件数	10万件 当たり
		() 内女性 [] 内核酸 増幅検査 のみ陽性	
1987年 (昭和62年)	8,217,340	11 (1)	0.134
1988年 (昭和63年)	7,974,147	9 (1)	0.113
1989年 (平成元年)	7,876,682	13 (1)	0.165
1990年 (平成2年)	7,743,475	26 (6)	0.336
1991年 (平成3年)	8,071,937	29 (4)	0.359
1992年 (平成4年)	7,710,693	34 (7)	0.441
1993年 (平成5年)	7,205,514	35 (5)	0.486
1994年 (平成6年)	6,610,484	36 (5)	0.545
1995年 (平成7年)	6,298,706	46 (9)	0.730
1996年 (平成8年)	6,039,394	46 (5)	0.762
1997年 (平成9年)	5,998,760	54 (5)	0.900
1998年 (平成10年)	6,137,378	56 (4)	0.912
1999年 (平成11年)	6,139,205	64 (6)	1.042
2000年 (平成12年)	5,877,971	67 (4) [3]	1.140
2001年 (平成13年)	5,774,269	79 (1) [1]	1.368
2002年 (平成14年)	5,784,101	82 (5) [2]	1.418
2003年 (平成15年)	5,621,096	87 (8) [2]	1.548
2004年 (平成16年)	5,473,140	92 (4) [2]	1.681
2005年 (平成17年)	5,320,602	78 (3) [2]	1.466
2006年 (平成18年)	4,987,857	87 (5) [1]	1.744
2007年 (平成19年)	4,939,550	102 (3) [6]	2.065
2008年 (平成20年)	5,077,238	107 (3) [0]	2.107
2009年 (平成21年) (1~12月)	5,287,101 (速報値)	102 (6) [2]	1.929

(注1)・昭和61年は、年中途から実施したことなどから、3,146,940件、うち、陽性件数11件(女性0)となっている。
(注2)・抗体検査及び核酸増幅検査陽性の血液は廃棄され、製剤には使用されない。
・核酸増幅検査については、平成11年10月より全国的に実施している。
(注3)・平成21年は、1月～9月の確定値と9月～12月の速報値で集計している。

HIV抗体・核酸増幅検査陽性献血者数内訳

1. 性別・年齢区分・国別

	男 性			女 性			合 計		
	日本人	外国人	計	日本人	外国人	計	日本人	外国人	計
16～19歳	29	1	30	11	0	11	40	1	41
20～29歳	491	27	518	44	4	48	535	31	566
30～39歳	451	11	462	23	2	25	474	13	487
40～49歳	169	1	170	11	1	12	180	2	182
50～69歳	72	0	72	5	0	5	77	0	77
合 計	1212	40	1252	94	7	101	1306	47	1353

※ 昭和61年～平成21年12月(昭和61年については年中途から集計し、平成21年10月～12月については速報値で集計)

2. 都道府県別(献血地別)

県別	平成17年度												平成18年度												合計	構成割合 (%)	ブロック別 構成割合		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			陽性献血 件数	割合 (%)	
1.北海道																										24	1.8		
2.青森県																													
3.岩手県																													
4.宮城県																													
5.秋田県																													
6.山形県																													
7.福島県																													
8.茨城県																													
9.栃木県																													
10.群馬県																													
11.埼玉県																													
12.千葉県																													
13.東京都	10	8	4	10	10	11	12	11	14	21	18	19	27	29	23	25	24	22	24	17	21	19	421	31.1	78	5.8	889	50.9	
14.神奈川県																													
15.新潟県																													
16.富山県																													
17.石川県																													
18.福井県																													
19.山梨県																													
20.長野県																													
21.岐阜県																													
22.静岡県																													
23.愛知県																													
24.三重県																													
25.滋賀県																													
26.京都府																													
27.大阪府																													
28.兵庫県																													
29.奈良県																													
30.和歌山県																													
31.鳥取県																													
32.島根県																													
33.岡山県																													
34.広島県																													
35.山口県																													
36.徳島県																													
37.香川県																													
38.愛媛県																													
39.高知県																													
40.福岡県																													
41.佐賀県																													
42.長崎県																													
43.熊本県																													
44.大分県																													
45.宮崎県																													
46.鹿児島県																													
47.沖縄県																													
合計	11	11	9	13	28	29	34	35	38	46	46	54	56	64	67	79	82	87	82	78	87	102	107	102	1383	100	1353	100	

ブロック別HIV抗体・核酸増幅検査陽性献血者

	平成17年			平成18年			平成19年			平成20年			平成21年 (1月~12月)(速報値)		
	献血者	陽性	10万人 当たり	献血者	陽性	10万人 当たり	献血者	陽性	10万人 当たり	献血者	陽性	10万人 当たり	献血者	陽性	10万人 当たり
北海道・東北	人	件	件	人	件	件	人	件	件	人	件	件	人	件	件
	712,276	6	0.842	674,411	3	0.445	647,438	4	0.618	651,215	5	0.768	677,073	5	1.329
関東	1,611,354	34	2.110	1,548,970	37	2.389	1,559,391	36	2.309	1,621,408	40	2.467	1,705,070	42	2.463
北陸・甲信越	373,158	1	0.268	337,810	4	1.184	330,485	4	1.210	335,848	0	0.000	340,901	0	0.880
東海	561,908	6	1.068	540,167	5	0.926	545,248	8	1.467	562,610	11	1.955	584,495	11	1.540
近畿	879,585	23	2.615	817,075	25	3.060	807,758	30	3.714	833,556	33	3.959	863,744	35	2.316
中国	367,593	3	0.816	335,666	5	1.490	316,087	5	1.582	316,509	4	1.264	329,443	4	1.214
四国	194,477	2	1.028	164,763	2	1.214	161,533	4	2.476	166,332	4	2.405	173,914	4	2.875
九州・沖縄	620,251	3	0.484	568,995	6	1.054	571,610	11	1.924	589,760	10	1.696	512,461	6	1.633
合計	5,320,602	78	1.466	4,987,857	87	1.744	4,939,550	102	2.065	5,077,238	107	2.107	5,287,101	102	1.929

年齢別HIV抗体・核酸増幅検査陽性献血者

	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年 (1月～9月)(確定値)	
	献血者 人	陽性 10万人 当たり 件	献血者 人	陽性 10万人 当たり 件	献血者 人	陽性 10万人 当たり 件	献血者 人	陽性 10万人 当たり 件	献血者 人	陽性 10万人 当たり 件
16才～ 19才	445,664	2.0	381,352 (1)	2.0524	324,414	5.1541	308,019	2.0	212,056	2.0943
20才～ 29才	1,329,692	25.1880	1,188,738 (2)	29.2440	1,135,102 (2)	38.3348	1,141,746	41.3591	858,241 (1)	24.2796
30才～ 39才	1,429,245	32.2239 (3)	1,361,658 (2)	43.3158	1,369,241 (1)	35.2556	1,391,141 (1)	50.3594	1,070,984 (3)	36.3361
40才～ 49才	1,078,146	10.0928	1,048,055	9.0859	1,088,410	17.1562	1,171,449 (1)	11.0939	950,667 (2)	15.1578
50才～ 59才	778,846	8.1027	766,625	3.0391	770,663	5.0649	785,280 (1)	3.0382	627,374	2.0319
60才～	259,009	1.0386	241,429	1.0414	251,720	2.0795	279,603	0.0000	235,757	0.0000
合計	5,320,602 (3)	78.1466	4,987,857 (5)	87.1744	4,939,550 (3)	102.2065	5,077,238 (3)	107.2107	3,955,079	79.1997

(注)陽性件数の()内女性

献血者における男女別HIV抗体・核酸増幅検査陽性者数の年次推移
(対10万人)

